

丹波に根付く美術の系譜。郷土ゆかりの作家たち

本展では、前回に続いて丹波市ゆかりの画家たちを紹介いたします。今回は「親子」をテーマに現代の美術作家2組を取り上げます。

1組目は常岡文亀・幹彦父子です。文亀（1898～1979）は東京美術学校を卒業し、同校で教員として後進の育成にも力を入れました。文亀の長男である幹彦（1930～2015）は、東京芸術大学日本画科を出て日展入選を重ね、独自の「玄」の世界を追求しました。もう1組は、山本茂斗・中尾英武父子です。東京出身の茂斗（1902～1985）は東京美術学校を卒業後、柏原町で長年美術教師を勤めながら、堂本印象の画塾「東丘社」で学び、丹波から多くの作家や美術教師を輩出しました。その実子である中尾英武（1943～

2021）は、京都市立美術大学卒業後、父同様「東丘社」に所属して活躍しました。

本展では当館及び丹波市内の施設で所蔵されている4人の作家の作品を約55点紹介します。

また併催展として、メゾチント技法を得意とする銅版画家・丹波子（1927～）の母は水上町出身です。丹波子の父は日本画家の丹阿彌岩吉。画家として用いる素材・技法は違うものの、親子で同じ絵画の道を歩んだ丹波ゆかりの作家として、当館所蔵の作品を約15点紹介します。



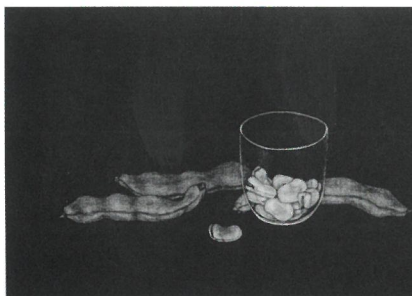
山本茂斗《柏原町木之根橋》1968年



常岡文亀《泰山木》1955年頃



常岡幹彦《浄夜》2002年



丹阿弥丹波子《そらまめ》2009年



中尾英武《薄暮》2014年

会期中のイベント

★開幕記念講演会

「丹波ゆかりの親子作家たちとその活躍」

日 時：4月9日（土）
午後1時30分～午後2時30分（午後1時より受付開始）
講 師：当館学芸員
会 場：植野記念美術館 2階研修室
定 員：50名 要電話予約（TEL 0795-82-5945）
参加費：無料（別途観覧料が必要）

★当館学芸員によるギャラリートーク

日 時：4月16日（土）「山本・中尾父子と東丘社」
4月23日（土）「花鳥の文亀・山海の幹彦」
各回午後2時～3時
会 場：植野記念美術館 2階ホール集合、3・4階展示室
定 員：各回20名程度、予約不要

★赤ちゃんからの美術鑑賞ツアー

日 時：4月22日（金）
午前10時～午後11時（午前9時50分より受付）
会 場：植野記念美術館 2階研修室及び3・4階展示室
対 象：0～6才の未就学児とその保護者
定 員：5組 要電話予約（TEL 0795-82-5945）
参加費：無料（別途観覧料が必要）

★UEBI（うえび）ファミリーDay

日 時：4月24日（日）、5月1日（日）、5日（木・祝）（各日終日）
家族での美術館デビューを応援！ 小学生以下のお子様には「UEBIシールラリー」セットをプレゼント致します。ご来館の皆様には、お子様連れのご家族が多い日であることをご理解、ご協力お願いいたします。

●交通案内（美術館へのアクセス）

- 【電車／バス】
- JR福知山線柏原駅（又は石生駅）下車後、神姫グリーンバスで「美術館前」下車すぐ。
- 【高速バス】
- 神戸・大阪・豊岡・城崎から高速バスで水上バス停下車後、徒歩5分。
- 【車】
- 舞鶴若狭自動車道春日JCTから北近畿豊岡自動車道・水上I.C.経由、水上の信号を左折。
- 播但連絡道路・和田山JCTから北近畿豊岡自動車道・水上I.C.経由、水上の信号を左折。
- 駐車場あり（45台分）

●次回展覧会予告

「きかんしゃトーマス展
ゾー島のなかまたちが教えてくれたこと」
2022年5月14日（土） 7月24日（日）開催予定

新型コロナウイルス対策へのご協力をお願い

- 必ずマスクの着用をお願い致します。
- 手指のアルコール消毒にご協力下さい。
- 来館受付簿へ連絡先等をご記入の上、受付へお越し下さい。



丹波市立 植野記念美術館

〒669-3603 丹波市水上町西中615-4
TEL.0795-82-5945

<http://www.city.tamba.lg.jp/site/bijyutukan/>

